

原子力規制委員会記者会見録

- 日時：令和5年10月25日（水）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 5階記者会見室
- 対応：山中委員長

<質疑応答>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから10月25日の原子力規制委員会定例会見を始めます。

皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。御質問のある方は手を挙げてください。

ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。よろしくお願いします。

今日の議題じゃないんですけども、川内原発の運転延長についての審査書案の取りまとめ状況等について、今どんな、今委員長の中でどのような御認識でいらっしゃるか教えてください。

○山中委員長 川内原発の運転延長の審査については終盤に来ているという報告を受けております。今後、審査書を取りまとめられて委員会で議論することになるかと思えます。

○記者 それは時期的なことをお伺いすると、ちょっと失礼なのかもしれないんですが、そんなに遠くなくということになるのでしょうか。

○山中委員長 恐らく終盤であって、審査書を取りまとめ中ということであれば、時期的にはそれほど遠くない将来かというふうに私自身も認識しております。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問ございますでしょうか。

タシマさん。

○記者 共同通信のタシマです。よろしくお願いします。

すみません。私のほうも本日の議題にはないんですけども、昨日からIAEA（国際原子力機関）のレビューが処理水の海洋放出後始まりましたけれども、ちょっとお話しできる範囲で構わないので、今のところ規制委からはどういったお話をされて、それに対する向こう側の感触とか、どのようなものなのでしょうか。

○山中委員長 IAEAのレビューが昨日から始まったということは聞いておりますし、報道等で、IAEAの次長等の会見内容も承知をしておりますけれども、規制委員会について、どのような検査内容になっているかということについては、まだ私のほうは承知をしておりません。

○記者 分かりました。

でしたら、委員長の感触として、海洋放出が始まってから昨日で2か月が経過しましたがけれども、今のところ、その規制としての対応としてはどのようなものだと認識しているのでしょうか。

○山中委員長 昨日第2回の放出が終了したということで、先日現場の検査官とも意見交換をさせていただいて、非常に東京電力自身が慎重に作業に取り組んでるということは、検査官のほうから報告を受けておりますし、私自身も現場視察することでできて、そのような認識しております。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、フクチさん。

○記者 朝日新聞のフクチと申します。

先ほど話が出て、川内の運転延長の話ですけれども、過去の東海第二とか美浜等々先行した延長の審査に比べると比較的余裕があってといいますか、過去は期限いっぱいになって、近づいてきているというような状況もありましたけど、川内のこれまでの審査の状況というのはどのように見ていらっしゃるのでしょうか。

○山中委員長 川内原子力発電所の運転延長の審査につきましては、技術的な内容について過去の例とそれほど大きく違う内容ではないという報告を受けておりますけれども、具体的に委員会に上がってきた審査書を見て、委員会で議論させていただきたいというふうに思っております。

○記者 地元のほうですと県民投票を実施するということが県議会の中で今日まきにかかっているところだと思いますけども、そういった住民の方々がこういった運転延長について県民投票であるとか、そういった意思表示というか、地域でそういったところの動きがあることについてはどう受け止めていますか。

○山中委員長 川内原発についての運転延長、様々な御意見があるということは承知をしております。

原子力規制委員会としてはこれまでどおり運転延長については慎重に審査をさせていただいているということを聞いておりますし、技術的には大きな差異はないという報告も受けております。今後、審査を委員会でしていきたいというふうに思っています。

○記者 ありがとうございます。

仮に川内がこれ運転延長認可が認められると、プラントとしては5、6基目になると思うのですが、規制委員会としての運転延長認可のこの審査の進め方というのは割と当初よりもスムーズにといいますか、言葉はちょっとはっきりと先例というのがある程度できてきて、審査側としても割とやりやすくなっているというところとあれかもしれないですが、何かちょっと変わってきた面というのはあると思われませんか。

○山中委員長 これまでも高経年化に対するその劣化モードについての審査の考え方ですか、知見が深まっている、あるいは審査経験が深まっているというところは確かにあるかなというふうには認識しておりますけれども、審査の内容そのものについてはこれまでと変わらない審査を続けているものというふうに私自身は考えています。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは本日の会見は以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—